

伊方町農業支援センターだより

Farmer's Communication Magazine For IKATA Member's

伊方町では国、県及び町単独により 様々な補助事業を実施しています。

令和6年度の補助事業実績は右記のとおりです。

補助率、事業メニューは県下でも最高水準となっていますので、ご自身の経営改善にあった事業があれば是非活用しましょう。

令和6年度実績：主なもの

果樹経営支援対策事業	3,543千円
未来型果樹産地強化支援事業	5,724千円
伊方町農林漁業振興事業	3,303千円
柑橘高品質対策事業(タイベック補助)	360千円
鳥獣害防止施設整備事業	2,252千円
鉄筋柵整備事業	2,272千円
捕獲隊等育成事業	862千円

■ 伊方町農林漁業振興事業の写真



電動剪定鋏



今年度の補助事業については、次ページをご参照ください。

— CONTENTS —

- 1～2. 補助事業について
- 3. 伊方町農業支援センター
業務内容・スタッフ紹介
- 4. 新規農業者アンケート
- 5. 西宇和かんきつ出前授業！in 首都圏小学校
- 6. 今後の農業経営に関するアンケート調査の概要
- 7. 地域計画（案）について説明及び作成の状況
- 8. 農業者年金に加入しましょう！

伊方町イメージキャラクター
サボンディー



No.45

企画発行／伊方町農業支援センター
〒 796-0301 西宇和郡伊方町湊浦 1993-1
伊方町役場本庁 2階 農林水産課内
TEL(0894) 38-2651 FAX(0894) 38-1373

◆瀬戸・三崎地域の受付窓口◆
瀬戸支所地域住民係 TEL(0894)52-0111
三崎支所地域住民係 TEL(0894)54-1111

農業者のみなさん。いろいろな補助事業を知っていますか？

ご自身の経営改善にあった事業があれば活用しましょう。



※ 要望とりまとめが既に終了している事業もありますので、農業支援センターまでお問い合わせください。

生産・施設・機械等に対する補助

果樹経営支援 対策事業 (国・町)	内容：優良品種への転換や小規模園地の整備を支援し、競争力の高い産地を育成する。 園内道整備、モノレール整備、用水灌水施設整備、改植 補助：国 1/2 町 2/10 受益者 3/10
未来型果樹産地 強化支援事業 (県・町)	内容：未来型果樹園の創造とブランド果実の安定供給による儲かる果樹農業の確立を目指し、産地の強化を図る。 紅まどんな・甘平等の屋根掛け施設整備、モノレール整備（動力車・台車・カバー） 補助：県 1/3 町 1/3 受益者 1/3
伊方町農林漁業 振興事業 (町)	内容：農業者が行う機械及び施設の整備または修繕に対し補助金を交付し、生産性向上並びに所得増大を図る。事業費が5万円以上であること。 モノレールのレール更新、動噴、選果機、ウッドチッパー、運搬車等 補助：事業費（税別）から5万円を除いた残額に対し、町 1/3（認定農業者は 1/2）
柑橘高品質 対策事業 (町・JA)	内容：気象に左右されにくい高品質果実生産を行うためにはマルチ栽培が基本であり、タイベック被覆による高品質対策を講じる。 タイベックマルチの導入 補助：町 30 円 /m ² 共選 20 円 /m ² JA 30 円 /m ²

鳥獣被害対策に対する補助

鳥獣害防止施設 整備事業 (県・町)	内容：鳥獣害防止対策をより効率的に推進し、生産意欲の向上に資する。 鉄筋柵、電気柵の整備 要件：受益戸数 2 戸以上（認定農業者は 1 戸から可） 補助：県 1/3 町 1/3 受益者 1/3（自力施工による資材費のみ）
防護柵整備事業 (町)	内容：国・県補助事業の採択要件に合わない園地の防護柵整備を進め被害防止に努める。 要件：受益戸数 1 戸から可 補助：町 1/2
捕獲隊等 育成事業 (県・町)	内容：狩猟免許取得及び狩猟登録に係る費用を補助し、捕獲体制の強化を図る。 要件：狩猟免許を取得し猟友会に入会後、有害鳥獣捕獲を行うこと 補助：8/10（免許取得費、狩猟登録費用（猟友会費相当分））

※ 各事業は、記載している要件以外にも細かい要件がありますので気になる事業がありましたら農林水産課までお問い合わせください。

伊方町農業支援センター業務内容・スタッフ紹介

業務／内容	役職	氏名
地域営農のこと 中山間地域対策事業、農業担い手支援、農業振興対策推進等のこと。	所長	(JA経済課) 梶谷真一
農業振興のこと 地域にマッチした農業振興策の推進のこと。	課長 課長補佐兼所長 主査	(役場農林水産課) (役場農林水産課) (役場農林水産課) 林栄作 橋本利彦 坂口文香
新規就農者支援のこと 新規就農者相談指導のこと。	係長 主事	(役場農林水産課) (役場農林水産課) 松平大 篠澤莉緒
地域支援のこと 補助事業相談指導、鳥獣害対策のこと。	係長 主事	(役場農林水産課) (役場農林水産課) 松平大 内山豊彰
土地改良区のこと 畑かん施設の修繕（補助）のこと。	課長補佐兼所長 主事	(役場農林水産課) (役場農林水産課) 橋本利彦 内山豊彰
営農指導 営農指導、補助事業、無料職業紹介、農地流動化、青壯年同志会事務局、女性部事務局、税務指導、農業者年金、労働災害保険、農作業支援、南予用水、伊方町共同防除組合事務局	嘱託参与 営農指導員 生活指導員 営農指導課	(JA) (JA) (JA) (JA) 井上博文 山西崇弘 山下栄子 竹中富香

関連窓口

伊方町役場（支所地域住民係）

瀬戸支所 係長 松本勇太
三崎支所 係長 山口浩正

八幡浜支局 地域農業育成室

主幹 小笠原長賢
係長 岡本宏
技師 松本亜子

J Aにしうわ（営農指導員）

町見事業所 山下誠治
瀬戸事業所 菊池武士
三崎出張所 竹中義雅



JAにしうわ伊方支店は、伊方支店営農管理センター内にあります。



農業委員会は、役場本庁2階です。



新規農業者アンケート



① 就農したきっかけは？

いつかは就農しようと思っていた為、父が還暦を迎えることを目安に戻ってきた。

② 農家に対するイメージは？

仕事に向き合った分だけ返ってくる。やるもやらないも自己責任。夏は暑いし、冬は寒い。

③ 今後の目標は？

園地を造園集約化し、作業しやすい環境作りをする。

④ 伊方町に望むことは？

雇用促進。町内で完結できる町づくり。買い物できる場所が欲しい。

⑤ 活用助成金

新規就業者支援対策事業



① 就農したきっかけは？

地元から離れた友達がいつ戻ってきてもいいように、自分が地元に残っていることで友達が地元で働くきっかけになり共に伊方を盛り上げればと思い、親の跡を継ぎ就農した。

② 農家に対するイメージは？

大変な作業は多いが、自由に休みが取れて子供との時間がたくさん取れるイメージ。

③ 今後の目標は？

独り立ちし、一人で作業をする際に分からぬことが多いように農業の知識や作業などをしっかり勉強する。

④ 伊方町に望むことは？

人口の増加

⑤ 活用助成金

新規就業者支援対策事業

八西地区青年農業者連絡協議会

西宇和かんきつ 出前授業！ in 首都圏小学校

愛媛県内では、多彩な中晩柑が広く知られていますが、首都圏ではまだ認知度が低いのが現状です。そこで、八西地区青年農業者連絡協議会では、平成18年度から毎年、首都圏の小学生を対象にした「出前授業」を開催し、産地のPRや農業への理解促進、中晩柑の消費拡大に取り組んでいます。

今年度も、首都圏の小学校で出前授業を行いました。参加した青年農業者が自己紹介した後、出前授業用のDVDを上映し、西宇和地区の紹介や中晩柑の品種、かんきつの栽培方法などを学んでもらいました。

その後、中晩柑の食べ比べを実施しました。カットしておいた伊予柑・不知火・はるみの3品種を手渡しで配布し、青年農業者が品種の特徴を説明しながら、子どもたちが自由に感想を述べつつ食べ比べました。児童たちは、品種ごとの味や香り、色や皮の違いに興味津々で、実際に食べることでその違いを実感していました。

質問コーナーでは、「農家になったきっかけ」や「おいしいみかんの見分け方」、「農業のやりがい」などの質問もあり、青年農業者にとっても、基本に立ち返る良い機会となりました。

最後に、PR教材として西宇和かんきつを紹介するクリアファイル、かんきつの旬が分かるカレンダー、みきゃんのシール、そしてオリジナルのすごろくをプレゼントしました。将来の消費者となる首都圏の小学生に、西宇和地域のかんきつの魅力をPRしました。

今年度も引き続き出前授業を開催する予定です。こうした活動を通じて、青年農業者のさらなる活躍が期待されます。



農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

今後の農業経営に関するアンケート調査の概要

1. 目的

今後、高齢化や人口減少の本格化によって農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されます。そこで、農地が利用されやすくなるように、農地の集約化等に向けた取組みを加速化することが、喫緊の課題とされています。

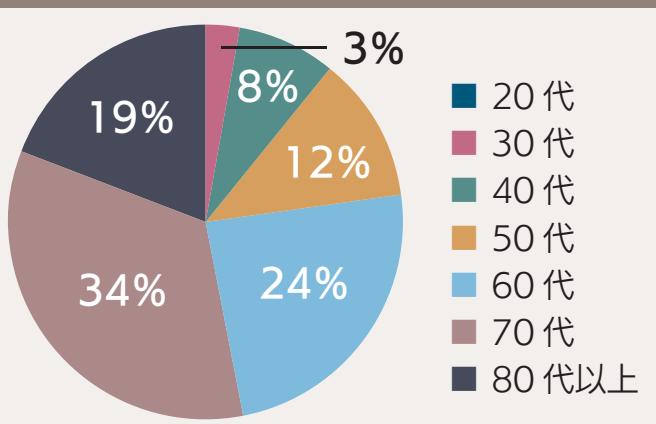
このような中、農業経営基盤強化促進法の改正により、人・農地プランが「地域計画」として法律に定められ、地域での話し合いによって、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化し、計画に沿って取組みを実行することとなりました。

そこで町では、地域の目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する計画（地域計画）を策定するため、中山間直接支払制度の農地所有者の皆様へ農業経営に関する今後の意向等について調査を実施することといたしました。（※町のHPでも閲覧できます。）

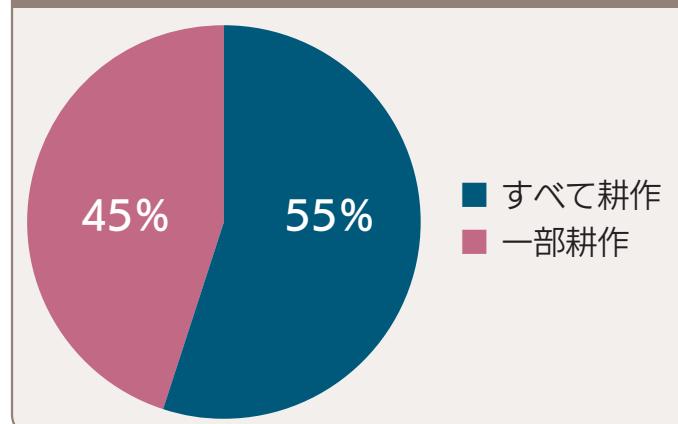
2. アンケート結果

調査対象者：中山間地直接支払制度加入者 776 人 → 回答 439 人（56.5%）

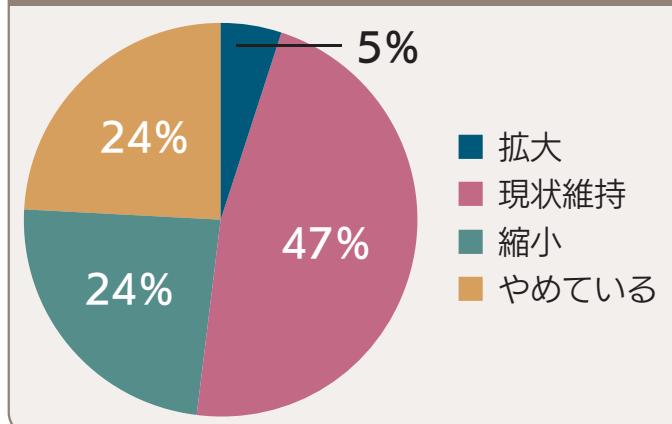
1 あなたの年齢について



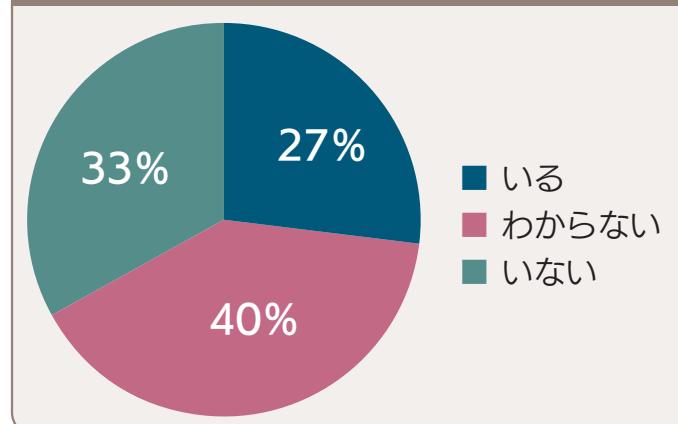
2 現在の耕作状況について



3 今後5～10年後の農業や農地利用について



4 農業の後継者について



地域計画に関する説明及び 協議を行いました。

中山間地直接支払制度第6期事前説明会にて

令和7年1月31日に、伊方町役場本庁6階において、31集落協定の代表者・役員に対して、地域計画に関する説明及び協議を行いました。

31集落協定（代表・役員）



若い農業者の 皆さん！ 自分の老後 自分で守れますか？

若い
今こそ年金
アクション！

若い農業者の方は、**国民年金の上乗せの
公的な年金「農業者年金」**に加入して
安心で豊かな老後を！

ポイント

1

国庫補助で手厚い支援！
1万円の自己負担で**2万円の積立てが実現！**

ポイント

2

早く加入すれば、**国庫補助が長く受けられる**

ポイント

3

自ら支払った保険料は、
全額社会保険料控除の対象！
さらに**保険料は自由に選べる！**

農業者年金の内容やご相談については、
最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金に
お問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

●専門相談員

TEL : 03-3502-3199

●企画調整室

TEL : 03-3502-3942